

北海道厚生年金会館の存続に関する決議

北海道厚生年金会館は、昭和 46 年（1971 年）の開館以来、36 年の長きにわたり、道民、市民の芸術・文化の拠点として、かけがえのない役割を果たしてきた。オーケストラピットを備えた 2,000 席以上のホールは道内唯一であり、札幌市のみにとどまらず、北海道全体の文化・芸術振興の観点から必要な施設であるといえる。

会館が売却されることが明らかになった後、北海道、札幌市、札幌商工会議所の三者は、地元が一丸となって会館存続に向けて取り組むことを合意し、協議を続けてきた。

今般、会館の機能を確実に維持するために、札幌市が主体となって入札へ参加することを決めたところであるが、財源負担についても三者の協力の下で進めていくべきである。

よって、本市議会は、北海道が札幌市に対し会館存続に向けた財政的支援を行うよう、強く求めるものである。

以上につき、決議する。

平成 20 年（2008 年）3 月 28 日

札幌市議会

（提出先）北海道知事

（提出者）全議員